



直方市議会議員

やすなが浩之

スピード
誠意あり

議会報告書

《令和2年9月定例会》

本会議

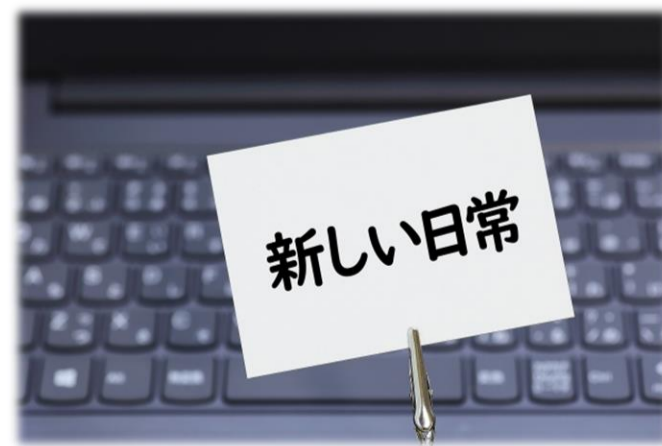
令和2年度直方市一般会計補正予算

可決

《議案第80・83号 令和2年度直方市一般会計補正予算（第6・7号）》

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業：3億2,405万2千円】

- ・ LINEを活用した新しい生活様式PR事業：500万円
- ・ ハザードマップ等防災ブック作成事業：847万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業（障がい福祉施設等支援）：1,100万円
- ・ 高齢者タクシー料金助成事業（タクシーチケット）：6,670万円
- ・ 高齢者施設等のコロナウイルス感染予防対策支援事業：1,882万1千円
- ・ 直方市農業活性化事業費補助金
 - 農産物直売所キャッシュレス化推進事業：900万円
 - 直方市農産物6次産業化支援事業：500万円
 - 直方市農産物販路拡大支援事業：500万円
- ・ デジタル化推進事業委託料：1,521万8千円
- ・ IT事業者誘致補助金：1,000万円
- ・ 行政課題解決型IoT等の開発実証事業委託料：1,000万円
- ・ 直方市新型コロナウイルス感染防止対策事業（事業所への支援）：1億1,400万円
- ・ 直方市新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通運行支援金
 - 鉄道事業者分：3,762万4千円
 - バス事業者分：1,802万8千円
- ・ 小中学校保健室等エアコン整備事業：955万8千円
- ・ 小中学校校務用パソコン整備事業：1,860万1千円
- ・ 小中学校給食3ヵ月無償化事業：4,986万2千円
- ・ 小中学校保健特別対策事業：1,900万円
- ・ 中央公民館施設予約システム構築委託料：440万円
- ・ 文化施設指定管理委託料（空調改修ほか）：1,521万5千円



■一般質問

【新型コロナウイルスによる パラダイムシフトへの対応について】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一気に広まったテレワークにより全国的に職場の景色が一変し、ICT化も急速に進んでいます。まさしく、社会全体の価値観などが革命的に変化するパラダイムシフトの様相を呈しており、早急な対応を迫られる状況です。コロナ禍の中で再認識された事項の一つとして、感染症や災害への対応における一極集中の大都市不利が挙げられ、働き方の変革も地方勤務を肯定化し、本市にとってチャンスとなる可能性も高まっています。市庁舎内のICT化やテレワークの状況などを伺うとともに、地方創生に繋がる本市の取り組みを確認し、意見提起しました。



- ・ 市庁舎内のICT化やテレワークの取り組みは？
➡「オンライン会議」の活用が進んでいるが、「テレワーク」は一時的な運用に留まった。今後検討していく。
- ・ 市庁舎内のペーパーレス化、文書の電子化の方向性は？
➡今年度内に、庁議・幹部会での会議資料ペーパーレス化を実施する予定。ペーパーレス化・文書の電子化を検討していく。
- ・ 市内企業のICT化やテレワークの状況は？
➡市内の大多数の企業でICT技術活用が進んでいないのが実状、セミナーや個別相談を通じて、ICTの活用支援を進めていく。
- ・ IT等まちなか創業支援補助金の現況は？
➡5件の問い合わせがあり2件の交付決定を行ったものの、IT等の情報サービス事業者からは1件の問い合わせのみで交付には至っていない。
- ・ GIGAスクール構想におけるタブレット導入の状況は？
➡令和3年2月末までに、全児童・生徒分が納品される予定である。学校と家庭をつなぐオンライン授業の実現についても検討していく。
- ・ 移住支援策の内容と概況は？
➡対象企業を県の成長分野に限定した移住支援補助金は実施しているが、今のところ1件も応募がない。民間事業者とも連携した環境整備を進めていきたい。

発行人：直方市議会議員 **安永 浩之**

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住所：直方市知古1丁目6番1号

メール：info@h-yasunaga.jp

電話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之 検索

